

【事業番号1】防災備蓄品整備事業費 事業概要シート

担当部名	危機管理部	事業名	防災備蓄品整備事業費
担当課名	危機管理課	(子事業名)	
担当係名	防災・危機管理係	根拠法令・例	災害対策基本法
事業開始年度		規・要綱等	厚木市地域防災計画
関連する事業 (子事業名)	地震防災意識啓発事業費 大型防災備蓄倉庫設置事業費		
事業概要			
目的	大規模災害に備えて、災害に強いまちづくりを推進することを目的に、防災備蓄品の整備を実施する。防災備蓄品の整備に当たっては、災害発生時の救助活動に必要な防災資機材のほか、避難所等での食料及び生活用品等の計画的な備蓄に取り組むこととし、被災者の速やかな救援を行うものとする。		
対象	被災した市民、帰宅困難者		
実施方法	1 食料や医薬品等の保存期限のある備蓄品については、期限が切れる前に計画的な入替えを行う。 2 発電機等の防災資機材の保守点検及びシャーレ等の応急医療用器材の滅菌処理を定期的に行う。		
事業詳細	<p>1 拠点型防災備蓄倉庫や小・中学校の避難所防災備蓄倉庫に備蓄</p> <p>(1) 備蓄食料...保存期間や味・品目を常に見直し、パリエーションの充実に努めている。 長期保存ビスケット、アルファ米、サバイバルフーズ、粉ミルク等</p> <p>(2) 生活用品...過去の災害や避難所運営委員会の意向を踏まえ品目を増やし、男女別や子ども用など利便性の向上に努めている。 避難所用テント、簡易トイレ、紙おむつ、生理用品、肌着セット等</p> <p>(3) 防災資機材...災害発生時に倒壊家屋等からの救出・救助活動で用いる資機材を整備している。 発電機、投光器、手押し車、担架、ジャッキ、かけや、車椅子、防塵ゴーグル・マスク、浄水器等</p> <p>2 医療救護所の専用ロッカーに備蓄</p> <p>(1) 医薬品 (総合感冒薬、抗生物質、血液代用剤等)</p> <p>(2) 医療用器材 (ピンセット、シャーレ等)</p>		
事業の効果	市では、過去の災害を踏まえて、防災備蓄品の増備を実施していることから、避難所等で被災者に速やかな物資提供が可能となる。また、東日本大震災や熊本地震を踏まえた備蓄品の見直しを行うことで、高齢者や子どもなどの多様な避難者に配慮した良好な避難所環境を確保することができる。		
事業周知方法 ・内容	<ul style="list-style-type: none"> 自治会・企業等の各団体に対して実施する防災講話において、市の防災備蓄品について説明。 避難所ごとに組織されている避難所運営委員会の訓練において、市の防災備蓄品について説明。 市内一斉に行う総合防災訓練において、賞味期限の迫った備蓄食糧等を啓発物品として配布。 		

事業の全体像(フロー図、写真などを用いて事業の様子を視覚的に説明)



代表的な事業指標	指標名	市の備蓄食料の備蓄食数				
	指標の説明	市が備蓄している備蓄食料の備蓄食数				
		・被災した市民に対する3日分の食料を目標の備蓄食数としている(一人当たり1日3食)。 ・神奈川県「地震被害想定調査」による本市の最大避難者数を、被災した市民の人数としている。 ・神奈川県が平成27年5月に被害想定を見直したことから、本市の最大避難者数が減少している。 ・30年以内の発生確率が70%である都心南部直下地震における本市の避難者数(26,080人)で換算すると、必要備蓄食数(23.5万食)を上回る備蓄食数(平成27年度30.6万食)を備蓄している。				
		単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標	万食	143.1	143.1	87.7	87.7	神奈川県地震被害想定調査による本市の最大避難者数 ・平成26年度まで 159,082人 ・平成27年度から 97,340人 本市の最大避難者数は、大正型関東地震の被害想定による。
実績		26.9	26.9	30.6		
達成率		18.8%	18.8%	34.9%		
事業のコスト						
コスト	単位	平成26年度(決算)		平成27年度(決算見込み)		平成28年度(予算)
	事業費		35,339	16,299	57,844	
	人件費	千円	16,535	12,579		
	総計		51,874	28,878		
人件費内訳	平成26年度人件費内訳(単位:千円)			平成27年度人件費内訳(単位:千円)		
	行政職1	@ 8,251 × 1.50人 =	12,377	行政職1	@ 8,421 × 1.00人 =	8,421
行政職2	@ 8,054 × 人 =	0	行政職2	@ 8,304 × 人 =	0	
消防職	@ 8,540 × 人 =	0	消防職	@ 8,672 × 人 =	0	
再任用	@ 3,455 × 人 =	0	再任用	@ 3,514 × 人 =	0	
臨時職員	@ 1,190 × 人 =	0	臨時職員	@ 1,186 × 人 =	0	
その他	@ 1,980 × 2.10人 =	4,158	その他	@ 1,980 × 2.10人 =	4,158	
事業費及び財源内訳(千円)	年度	総額	一般財源	国県支出金	市債	その他
	H26(決算)	35,339	31,909	3,430	0	0
	H27(決算見込み)	16,299	16,299	0	0	0
	H28(予算)	57,844	57,044	0	800	0
事業費内訳	【平成28年度予算の内訳】					
	需用費	52,435千円(避難所用テントほか36,861千円【補正】、サバイバルフーズほか7,373千円、医療救護所用医薬品ほか4,569千円、防塵マスク・ゴーグルほか3,632千円)				
市民要望社会的要請課題	役務費	1,025千円(医療用器材滅菌手数料ほか563千円、防災備蓄品廃棄手数料462千円)				
	委託料	2,300千円(防災備蓄品保守点検2,200千円、除雪機保守点検100千円)				
	備品購入費	2,084千円(災害対策用プリンタ1,760千円、スタンドパイプ324千円)				
	30年以内に70%の確率で発生すると言われていた都心南部直下地震等により、災害対策の更なる強化が求められている。市が実施している市民満足度調査でも、87.7%の市民が災害に強いまちづくりの取組が重要であると回答している。					
上記課題等への対応の見直しの方角性	国の災害対策の見直しを踏まえ、最大規模の地震等を想定した対応の強化が要請されている。また、指定避難所のほか、福祉避難所や帰宅困難者への対応など、公的備蓄への社会的需要が高まっている。					
	今後ますます増大していく防災備蓄品への対応について、限られた予算の中でどのように優先順位を決定していくのか、また、物資の保管場所や維持管理方法についても、事業内容を整理する必要がある。					
直近3年以内の事業見直しの有無とその内容	見直しの有無	有				
	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度の見直し 荻野運動公園に建設した拠点型備蓄倉庫の備蓄強化のため、救助用資機材及び災害用トイレ等を増備。 平成27年度の見直し 備蓄食料を充実させるため、アレルギーフリーのカレーライス及びアレルギー対応の粉ミルクを整備。 平成28年度の見直し 熊本地震の被災地派遣を踏まえ、エコノミー症候群防止用タイツ等の避難所における生活用品を増備。 					

参考資料 1

荻野運動公園防災備蓄倉庫について

1 目的

必ず起こる大規模災害に備え、地域防災計画の見直しにより、新たな大規模拠点型防災倉庫の整備を位置付け、広域・指定避難場所である荻野運動公園の防災機能強化を目的に、拠点型の防災備蓄倉庫を設置した。

2 効果

本倉庫の設置により、現在、市内に備蓄している約 20 万食の備蓄食料に加え、新たに約 7 万食の備蓄食糧を増備するほか、市内 14 箇所の医療救護所で使用する発電機、投光器等の資機材を新たに備蓄するなど、より一層の備蓄強化を推し進めることができた。

このほか、ぼうさいの丘公園、厚木中央公園に続く、大型の防災備蓄倉庫を設置したことにより、更なる備蓄品の分散備蓄が図られ、災害時の迅速かつ効果的な物資の提供が可能となった。

3 備蓄倉庫概要

(1) 完成日

平成 25 年 3 月 25 日 (月)

(2) 場所

荻野運動公園駐車場内
(厚木市中荻野 1500 番地)

(3) 面積

300 m²

(4) 構造

鉄骨造 地上 1 階

(5) 備蓄品

別紙、「荻野運動公園防災備蓄倉庫 備蓄一覧」のとおり

【備蓄品の一例】

食糧品 (災害保存用ビスケット、サバイバルフーズほか)、毛布、エアータント、大型発電機、バルーン投光器、コードリールほか

※ 現在、空いているに区画にも順次、備蓄品を備蓄する予定。

(6) 賃借料

39,900,000 円 (10 年リース契約)

(担当 危機管理部危機管理課 内線 2190)

荻野運動公園防災備蓄倉庫 備蓄一覧

1 備蓄食糧品

No.	区分	品名	用途説明等	数量
1	新規	災害保存用ビスケット	420缶 (1 缶60食入)	25,200 食
2	新規	サバイバルフーズ	240缶 (1 缶10食入)	2,400 食
3	新規	アルファ米 (わかめごはん)	150箱 (1 箱50食入)	7,500 食
4	新規	おかゆ (梅がゆ)	40箱 (1 箱50食入)	2,000 食
5	新規	缶詰パン	600箱 (1 箱24食入)	14,400 食
6	新規	ビスコ保存缶	1,200箱 (1 箱20食入)	24,000 食
合計				75,500 食

2 防災用資機材

No.	区分	品名	用途説明等	数量
1	新規	バルーン投光器	照明機器	14 基
2	新規	大型発電機	照明機器用電源	14 台
3	新規	コードリール	照明機器用	14 台
4	新規	エアータント		2 台
5	新規	エアータント用電動ポンプ		2 台
6	既存	テント		8 張
7	既存	投光器 (ライトボーイ)		3 台
8	既存	投光器用スタンド		1 台
9	既存	発電機 (2000W)		1 台
10	既存	発電機 (550W)		1 台
11	既存	蛍光灯付サーチライト		25 台
12	既存	ラジオ付サーチライト		24 台
13	既存	救助用ハイジャッキ		1 本
14	既存	担架ベッド		5 台
15	既存	ワイヤレスメガホン		9 台

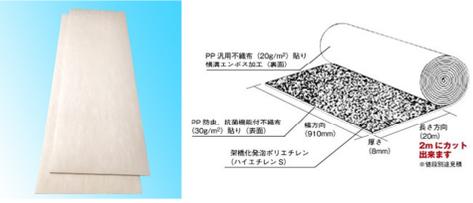
※新規購入の投光器、発電機、コードリールは医療救護所用として想定。

3 生活用品

No.	区分	品名	用途説明等	数量
1	既存	災害備蓄用毛布	避難者用	4,350 枚
2	既存	救急箱一式	20人用	7 箱
3	既存	災害用食器セット	100人用	2 箱
4	既存	給水タンク	500リットル	4 袋
5	既存	防災シート	4m×4m	3 枚
6	既存	防災用敷シート		7 枚
7	既存	シュラフ	寝袋	99 点
8	既存	乾電池	単 1	200 本
9	既存	うんち君	簡易トイレ	5 基
10	既存	うんち君用便座		100 台
11	既存	うんち君カートリッジ		100 枚
12	既存	ベンクイック	簡易トイレ	1 基
13	既存	シティクリーン	簡易トイレ	2 基
14	既存	トイレットペーパー	100巻入り	2 箱

平成 28 年熊本地震における避難所運営等を踏まえた対応

平成 28 年 4 月 14 日に発生した平成 28 年熊本地震の際に派遣をした「先導隊」の検分を基に、現在備蓄している防災用品等の追加備蓄を行うため、次のとおり平成 28 年度 6 月期補正予算にて要求し、対応することとした。

No.	品名	数量	写真
1	防災敷きシート(2m×1m) 10セット	約450個	 <p>PP 汎用不織布 (20g/m²) 貼り 機織メッシュの底布 (機織)</p> <p>PP 機織、抗摩織布付不織布 (20g/m²) 貼り (裏面)</p> <p>機織メッシュ (10mm)</p> <p>厚さ (8mm)</p> <p>長さ方向 (20m) 2m にカット 出来ます ※機織部は裏側</p>
2	屋内用テント ひなんルーム(2人用) (2m×2メートル)	約2,000張	
3	エコノミー症候群防止用タイツ (M・Lサイズ)	約2,000足	
4	ブルーシート (3.6m×5.4m)10枚入り	約50個	
5	毛布(10枚セット)	約50箱	
6	肌着セット (男性用250着、女性用250着)	約500着	

防災備蓄倉庫設置場所一覧

参考資料3

1 拠点型 (11箇所)

平成28年2月1日現在

No.	倉庫名	所在地	構造・床面積	設置年度	鍵の保管者
1	ぼうさいの丘公園	温水783-1 (センター施設内)	鉄筋コンクリート造 961.34㎡	H12年度	ぼうさいの丘公園管理事務所
2	厚木中央公園地下	寿町3-2-1 (地下駐車場B1)	鉄筋コンクリート造 310.4㎡	H2年度	厚木消防署
3	荻野運動公園	中荻野1500	鉄骨造 300.00㎡	H24年度	荻野運動公園管理事務所 公園管理課
4	長谷	長谷1574-3 (南毛利分署内)	鉄骨造 124.64㎡ (1階 42.48㎡) (2階 82.16㎡)	S55年度	南毛利公民館、南毛利分署
5	上落合	上落合560-3 (上落合老人憩の家併設)	鉄骨造 50.13㎡	S58年度	相川公民館、上落合自主防災隊、 上落合老人憩の家、相川分署
6	山際	山際982-2 (消防団2分団3部併設)	鉄骨造 49.895㎡	S60年度	依知公民館、山ノ根自主防災隊、 依知分署
7	戸田	戸田366-1 (戸田自治会館併設)	鉄骨造 45.54㎡	S62年度	相川公民館、上戸田自主防災隊、 相川分署
8	七沢	七沢199-8 (消防団第6分団3部併設)	鉄骨造 40.56㎡	S63年度	玉川公民館、玉川分署、 大畑・日向川一部自主防災隊
9	林	林3-8-52 (消防団第3分団第1部併設)	鉄骨造 45.00㎡	H元年度	睦合南公民館、厚木消防署、 林第2自主防災隊
10	三田	三田2727-2 (消防団第3分団第4部隣)	鉄骨造 34.75㎡	H2年度	睦合北公民館、睦合分署、 中三田第1自主防災隊
11	依知南	下依知406-1 (依知南公民館内)	海上輸送コンテナを一部改造 14.4㎡	H16年度	依知南公民館、依知分署、 依知南小学校

2 避難所設置 (44箇所 45基)

No.	地区	倉庫名	所在地	構造・床面積	設置年度	鍵の保管者
1	厚木北	厚木小学校	寿町3-15-34	アルミコンテナ型 15.93㎡	H26年度	厚木北公民館、厚木小学校、 厚木北地区自主防災隊、厚木消防署
2		厚木中学校	水引1-1-3	アルミコンテナ型 15.93㎡	H26年度	厚木北公民館、厚木中学校、 厚木北地区自主防災隊、厚木消防署
3	厚木南	厚木第二小学校	旭町5-38-1	アルミコンテナ型 15.93㎡	H26年度	厚木南公民館、厚木第二小学校、 旭町5丁目自主防災隊、厚木消防署
4		厚木清南高校	旭町5-38-1	海上輸送コンテナを一部改造 14.4㎡	H14年度	厚木南公民館、厚木第二小学校、 相川分署
5	依知北	上依知小学校	上依知1657	アルミコンテナ型 15.94㎡	H7年度	依知北公民館、上依知小学校、 依知分署
6		藤塚中学校	上依知1289	アルミコンテナ型 15.94㎡	H7年度	依知北公民館、藤塚中学校、 藤塚団地自主防災隊、依知分署
7		北小学校	山際658	アルミコンテナ型 15.94㎡	H7年度	依知北公民館、北小学校、 新開自主防災隊、依知分署
8		中央青年の家跡地自然園	下川入1365-8	海上輸送コンテナを一部改造 13.8㎡	S59年度	依知北公民館、下川入第2自主防災隊 依知分署
9	依知南	依知小学校	関口872-1	アルミコンテナ型 15.93㎡	H27年度	依知南公民館、依知小学校、 依知小学校区自主防災隊、依知分署
10		依知中学校	中依知364	アルミコンテナ型 15.94㎡	H7年度	依知南公民館、依知中学校、 中依知自主防災隊、依知分署
11		依知南小学校	下依知1195-1	海上輸送コンテナを一部改造 14.4㎡	H3年度	依知南公民館、依知南小学校、 下依知自主防災隊、依知分署
12	睦合北	三田小学校	三田515	海上輸送コンテナを一部改造 13.8㎡	S57年度	睦合北公民館、三田小学校、 中三田第2自主防災隊、睦合分署
13		睦合中学校	下荻野1170	アルミコンテナ型 15.94㎡	H7年度	睦合北公民館、睦合中学校、 新宿自主防災隊、睦合分署
14		睦合東中学校	三田3472	アルミコンテナ型 15.94㎡	H7年度	睦合南公民館、睦合東中学校、 十日市場自主防災隊、睦合分署

No.	地区	倉庫名	所在地	構造・床面積	設置年度	鍵の保管者
15	睦合南	清水小学校	妻田西3-18-1	海上輸送コンテナを一部改造 13.8㎡	S57年度	睦合南公民館、清水小学校、 白根自主防災隊、睦合分署
16		林中学校	林5-5-1	アルミコンテナ型 15.94㎡	H7年度	睦合南公民館、林中学校、 林第2自主防災隊、厚木消防署
17		妻田小学校	妻田南1-14-1	アルミコンテナ型 15.94㎡	H7年度	睦合南公民館、妻田小学校、 木売場自主防災隊、厚木消防署
18	荻野	及川球場	及川1-17-1	海上輸送コンテナを一部改造 14.4㎡	H14年度	睦合南公民館、及川球場、 及川1・2・3自主防災隊、 及川団地自主防災隊、睦合分署
19		上荻野小学校	上荻野1429	アルミコンテナ型 15.94㎡	H7年度	上荻野分館、上荻野小学校、 荒井自主防災隊、北消防署
20		荻野中学校	鳶尾5-1-1	海上輸送コンテナを一部改造 13.8㎡	S57年度	荻野公民館、荻野中学校、 鳶尾5丁目自主防災隊、北消防署
21		荻野小学校	上荻野8	アルミコンテナ型 15.94㎡	H7年度	荻野公民館、荻野小学校、 宮郷自主防災隊、北消防署
22	小鮎	鳶尾小学校	鳶尾2-12-1	アルミコンテナ型 15.94㎡	H7年度	荻野公民館、鳶尾小学校、 鳶尾2丁目自主防災隊、北消防署
23		神奈川工科大学	下荻野1030	海上輸送コンテナを一部改造 13.8㎡	H14年度	荻野公民館、神奈川工科大学、 子中自主防災隊、北消防署
24		飯山小学校	飯山4400	アルミコンテナ型 14.94㎡	H5年度	小鮎公民館、飯山小学校、小鮎分署
25	南毛利	小鮎中学校	飯山2367	アルミコンテナ型 15.94㎡	H7年度	小鮎公民館、小鮎中学校、 日枝・辻自主防災隊、小鮎分署
26		小鮎小学校	飯山2360	海上輸送コンテナを一部改造 13.8㎡	S57年度	小鮎公民館、小鮎小学校、 台自主防災隊、小鮎分署
27		戸室小学校	戸室4-4-1	アルミコンテナ型 15.94㎡	H7年度	南毛利公民館、戸室小学校、 戸室4丁目自主防災隊、厚木消防署
28	南毛利	厚木高校	戸室2-24-1	海上輸送コンテナを一部改造 14.4㎡	H16年度	南毛利公民館、厚木高校、厚木消防署
29		南毛利中学校	恩名2-16-1	海上輸送コンテナを一部改造 13.8㎡	S57年度	南毛利公民館、南毛利中学校、 恩名原自主防災隊、厚木消防署
30		南毛利小学校	長谷1085	アルミコンテナ型 15.94㎡	H7年度	南毛利公民館、南毛利小学校、 長谷清水自主防災隊、南毛利分署
31	南毛利南	毛利台小学校	毛利台1-23-1	アルミコンテナ型 15.94㎡	H7年度	南毛利公民館、毛利台小学校、 毛利台1丁目自主防災隊、南毛利分署
32		愛甲小学校	愛甲西1-17-1	海上輸送コンテナを一部改造 13.8㎡	S57年度	愛甲公民館、愛甲小学校、 上愛甲自主防災隊、南毛利分署
33	玉川	東名中学校	愛甲1809	アルミコンテナ型 14.4㎡	H3年度	愛甲公民館、東名中学校、 坊中自主防災隊、相川分署
34		玉川中学校	小野301-10	海上輸送コンテナを一部改造 13.8㎡	S57年度	玉川公民館、玉川中学校、玉川分署
35	森の里	玉川小学校	七沢150-1	アルミコンテナ型 15.94㎡	H7年度	玉川公民館、玉川小学校、 大畑・日向川自主防災隊、玉川分署
36		若宮公園	森の里1丁目	海上輸送コンテナを一部改造 13.8㎡	S60年度	若宮公園管理事務所、森の里公民館、 森の里1丁目自主防災隊、玉川分署
37		森の里中学校	森の里3-35-1	アルミコンテナ型 15.94㎡	H7年度	森の里公民館、森の里中学校、 森の里3丁目自主防災隊、玉川分署
38	相川	森の里小学校	森の里1-27-1	アルミコンテナ型 15.94㎡	H7年度	森の里公民館、森の里小学校、 森の里1丁目自主防災隊、玉川分署
39		相川小学校	岡田5-10-1	アルミコンテナ型 15.94㎡	H7年度	相川公民館、相川小学校、 酒井宿自主防災隊、相川分署
40	緑ヶ丘	相川中学校	酒井1981-1	海上輸送コンテナを一部改造 13.8㎡	S56年度	相川公民館、相川中学校、相川農協、 上戸田自主防災隊、相川分署
41		戸田小学校	戸田545	アルミコンテナ型 15.94㎡	H7年度	相川公民館、戸田小学校、 戸田下沖自主防災隊、相川分署
42	広域避難場所	緑ヶ丘小学校	緑ヶ丘4-1-1	海上輸送コンテナを一部改造 13.8㎡	S57年度	緑ヶ丘公民館、緑ヶ丘小学校、 緑ヶ丘4丁目自主防災隊、小鮎分署
43		荻野運動公園	中荻野1500	海上輸送コンテナを一部改造 13.8㎡	S61年度	荻野公民館、荻野運動公園、 馬場自主防災隊、北消防署
44		厚木東高校	王子1-1	海上輸送コンテナを一部改造 13.8㎡	S59年度 S62年度	緑ヶ丘公民館、厚木東高校、 厚木消防署